

平成29年度 公益財団法人可児市文化芸術振興財団事業報告

鑑賞体験促進事業			
	事業名	事業内容	実施日／会場
1	音楽の絵本	児童劇ともキャラクターショーとも違う本格的なクラシックコンサート。母の日コンサートとして位置づけ、カーネーションのプレゼントを行った。 【出演】ズーラシアンブラス（金管五重奏団）、弦うさぎ（弦楽四重奏団）	平成29年5月14日（日） ／主劇場
2	かに寄席「納涼」	東西の人気噺家による親しみやすさと芸の奥深さの両方が感じられるプログラムとした。会場にのぼりを設置し、浴衣での来場客に大入り袋（銭洗い弁天で洗った五円玉）を進呈するなど会場の雰囲気盛り上げた。 【出演】桂雀々、林家正蔵、笑福亭喬若、金原亭馬治、花井伸夫（席亭）	平成29年8月20日（日） ／主劇場
3	仲道郁代ピアノ・リサイタル	デビュー30周年を迎えた日本を代表するピアニストを招いたピアノリサイタル。なじみのあるショパンの曲でプログラムを構成し、出演者自らが曲解説を行うなど、初めてのお客様にもわかりやすく好評であった。 【プログラム】オールショパンプログラム（子犬のワルツ、革命、別れの曲、英雄ポロネーズなど全14曲） 【出演】仲道郁代	平成29年11月11日（土） ／主劇場
4	かに寄席 初席	落語のほかに浪曲、講談を加え、正月らしい華やかさのあるプログラムとした。会場に花餅を飾り付け、開演前にはロビーで東濃実業高等学校箏曲部が箏曲を演奏するなど、会場の雰囲気づくりを行った。 【出演】林家木久扇、瀧川鯉昇、玉川奈々福、一龍齋貞寿、林家けい木	平成30年1月14日（日） ／主劇場
鑑賞体験促進事業（地域拠点契約公演）			
	事業名	事業内容	実施日／会場
1	新日本フィルハーモニー交響楽団 サマー・コンサート 2017	岐阜県出身のピアニストを招き、有名楽曲を選曲するなど、クラシックを身近に感じていただけるようにした。関連企画の「リハーサル見学&デザート」ではサブライズで出演者が登場し、お客様の満足度を高めた。 【プログラム】チャイコフスキー／組曲第4番・ピアノ協奏曲第1番、モーツァルト／交響曲第36番、アンコール：ラフマニノフ／プレリュード、モーツァルト／交響曲第34番より終楽章 【出演】上岡敏之（指揮）、上原彩子（ピアノ）、新日本フィルハーモニー交響楽団（管弦楽）	平成29年9月9日（土） ／主劇場
2	新日本フィルハーモニー交響楽団 ニューイヤー・コンサート 2018	新年を迎えるにふさわしい華やかな楽曲を選曲した。関連企画として公演後にアフターパーティーを開催し、出演者を囲んで軽食と歓談を楽しんだ。 【プログラム】シュトラウスⅡ／喜歌劇「こうもり」序曲、スメタナ／モルダウ、ハチャトゥリアン／仮面舞踏会、ブラームス／ハンガリー舞曲第5番、エルガー／威风堂々 【出演】広上淳一（指揮）、田添菜穂子（司会）、新日本フィルハーモニー交響楽団（管弦楽）	平成30年1月5日（金） ／主劇場
3	文学座公演 「真実」	夫婦をめぐる恋愛を主題にした公演で、国内では東京と可児市だけの上演。ダブルキャスト（2チーム）の公演で、チームごとに違った印象の公演となった。各日とも出演者によるアフタートークを実施した。 【作】フロリアン・ゼレール 【演出】西川信廣 【出演】渡辺徹、鍛冶直人 ほか	平成30年3月8日（木） ～10日（土） ＜全3回公演＞ ／小劇場

鑑賞体験促進事業（自主企画・制作公演）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	風間杜夫落語独演会	「元犬」「芝浜」を披露。俳優の風間杜夫による落語は噺家とは違った魅力があり、完売となった。割合の多い60以上の来場者に合わせ、開演時間を30分早めた。アフタートークも実施した。 【出演】風間杜夫	平成29年12月22日(金) ／小劇場
2	祈りのコンサート2018	東日本大震災で犠牲になられた方々の鎮魂と、被災者の1日も早い心の復興を祈るチャリティコンサート。公演の印刷物や舞台装飾などは各企業の協賛で賄った。収益とお客様からの募金を「傾聴ボランティア大槌・ひまわり」「公益社団法人宮城県精神保健福祉協会 みやぎ心のケアセンター」などに寄付した。 【出演】辻彩奈（ヴァイオリン）、斉藤龍（ピアノ）、佐野秀典（ナビゲーター）	平成30年3月11日(日) ／主劇場
3	Welcome to A.G Town	歌とギターによるコンサート。ヤイリギターの協力により、集客力のある向井秀徳さんを招いた。県外からの来場者もあり、アコースティックギター製造のまち「可児」をPRできた。 【出演】向井秀徳	平成29年8月6日(日) ／小劇場
4	グリーンコンサート	無料の屋外コンサートを春と秋に開催した。ヤイリギターに協力いただき、一定のレベルがあり、アールの雰囲気盛り上げられるアーティストを招いた。鑑賞中の飲食や撮影可能な場にして、多くの家族連れが気軽に楽しんだ。 【出演】落合みつを、田中慈人、うたのギリギリ☆おにいさん、Artrandom、野崎有真、佐藤嘉風、奥山尚佳	平成29年4月8日(日)～平成30年3月31日(土) ＜全7回公演＞ ／水と緑の広場

鑑賞体験促進事業（共催公演）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	ディズニー・ライブ!	ディズニーのキャラクターが出演するマジックショー。未就学児も入場可で、普段アールに来場することの少ない子どもとその両親・祖父母が多く訪れ鑑賞を楽しんだ。	平成29年4月19日(水) ～20日(木) ＜全4回公演＞ ／主劇場
2	チェコ・フィルハーモニー・ゾリステン with 吉鷹奈津子	チェコを代表するオーケストラの弦楽トップメンバーと市内在住ピアニスト・吉鷹奈津子さんのリサイタル。 【プログラム】シューマン／トロイメライ、ブラームス／ハンガリー舞曲第1番 ほか 【出演】吉鷹奈津子（ピアノ）、チェコ・フィルハーモニーゾリステン（オタ・バルトシュ：ヴァイオリン、ヤロスラフ・ポンヂェリーチェク：ヴィオラ、フランティシェク・ホスト：チェロ）	平成29年6月4日(日) ／小劇場
3	ウィーン V. ルジェリウスピアノ三重奏団	ピアノ三重奏団のコンサート。ウィーン仕込みの演奏に、曲の背景やウィーンの文化などのトークを交え、クラシックコンサートを気軽に楽しめる構成とした。 【プログラム】ドボルザーク／ユーモレスク、マスネ／タイスの瞑想曲、シュトラウスⅡ／春の声 ほか 【出演】森川耕太（ヴァイオリン）、森川敏子（チェロ）、黒木由香（ピアノ）	平成29年7月29日(土) ／小劇場
4	なごみーずアコースティックナイトin可児	50～60代に人気・知名度のあるミュージシャンによるコンサート。長年愛されている数々の名曲をお届けした。 【プログラム】22才の別れ、木綿のハンカチーフ、学生街の喫茶店ほか全20曲。 【出演】伊勢正三、太田裕美、大野真澄ほか	平成30年3月21日(水) ／主劇場

5	音楽家の集い	プロのクラシック演奏家によるロフトを活用したコンサート。劇場より身近な空間で、安価に鑑賞する機会を提供した。クラシックの他、ジャズやアルゼンチン音楽など各回趣向を変え、幅広い音楽を提供した。子ども向け2公演、福祉施設向け1出張公演も行った。 【主なプログラム】金管五重奏、オペラハイライト、弦楽四重奏、ラテン民謡、童謡ほか	平成29年5月19日(金)～平成30年3月21日(水) ＜全9回公演＞ ／音楽ロフトほか
6	その他共催事業	映画上映会を2公演開催した。	通年

鑑賞体験促進事業（映画事業）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	アーラ映画祭2017	近隣に映画館が無い可児市で旬な日本映画を6本を上映し、聴覚障がい者も一緒に楽しめるようバリアフリー字幕を2本取り入れ多くの市民に映画を楽しんでいただいた。作品選定、フロントスタッフなどは市民ボランティアによる。関連企画として監督、プロデューサーのトークとシネマカフェを行った。 【上映作品】人生フルーツ、団地、永い言い訳、この世界の片隅に、湯を沸かすほどの熱い愛、聖の青春 【出演】中野量太（「湯を沸かすほど熱い愛」監督）、阿武野勝彦（「人生フルーツ」プロデューサー）	平成29年10月20日(金)～22日(日) ／小劇場
2	アーラ・キネマ倶楽部	映画館が無い可児市で映画を鑑賞できるよう、年を通じて上映した。3か月ごとにテーマを決め、バラエティに富んだ作品を提供できた。社会的弱者（視覚障がい者）も鑑賞できる日本語字幕付きバリアフリー上映も3回行った。 【主な上映作品】オケ老人！、アリスのままで、わたしはダニエルブレイク	通年 ／映像シアター

鑑賞体験促進事業（展覧会）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	エイブル・アート展	障がいを持った作家の絵画展。市内の支援学級生徒の作品も展示した。アートの魅力、障がい者とアートの可能性について理解を深めることが出来た。展示作品に関連して常設したコピー機を使ったコラージュワークショップは、小さな子どもから大人まで体験し好評だった。 また、関連企画として障がい者とアートの可能性について考える勉強会を実施し、障がい者やアートに関わっている人など22人が参加した。	平成29年7月15日(土)～23日(日) ／美術ロフト

鑑賞体験促進事業（収益目的事業）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	AKIRA FUSE LIVE 2017-2018 ROUTE70- 来し方行く末-	紅白歌合戦に25回の出場を果たすなど人気、歌唱力ともに申し分のない布施明のコンサートを実施した。 【出演】布施明	平成29年9月28日(木) ／主劇場

まち元気・市民交流促進事業（自主企画・制作公演）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	シリーズ恋文vol. 8	俳優2名と演出家を可児市に招き、5日間の滞在でオリジナル作品を作り上げる朗読公演。台本は秋田県二ツ井町で行われていた「恋文コンテスト」の作品を元に構成した。 【演出】西川信廣（文学座） 【音楽】黒木由香 【出演】平田満、竹下景子	平成29年5月27日（土） ～28日（日） ／小劇場
2	（地域拠点契約関連企画） 新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによる オープン・シアター・コンサート	障がい者や高齢者、乳幼児の親など、演奏会場で音楽を楽しむ機会の持ちにくい人に生の演奏を届けるコンサート。椅子を外してカーペットを敷き、親子が床に座れるようにするなど、会場のレイアウトに配慮した。 【プログラム】ヴィヴァルディ／春、アンダーソン／ワルツィング・キャット、ロドリゲス／ラ・クンパルシータ、崖の上のポニョ、となりのトトロ ほか 【出演】新日本フィルハーモニー交響楽団の10人による弦楽アンサンブル（ビルマン聡平、田村直貴、山本のりこ、外園萌香、竹中勇人、矢浪礼子、高橋正人、植草ひろみ、大木翔太、村松裕子	平成29年6月15日（木） ／主劇場
3	森山威男ジャズナイト2017	森山威男による恒例のジャズコンサート。今年は山下洋輔さん、坂田明さんを招いて「山下洋輔トリオ」が一夜限り復活する構成とした。 【出演】森山威男（ドラム）、山下洋輔（ピアノ）、坂田明（アルトサクソ）、川嶋哲郎（テナーサクソ）、類家心平（トランペット）、中路英明（トロンボーン）、高岡大祐（チューバ）、水谷浩章（ベース）	平成29年9月16日（土） ／主劇場
4	ala Collection シリーズ vol.10 「坂の上の家」	アラが企画制作する演劇公演。市民サポーターを募集し、可児市に滞在して稽古する約1カ月間、制作をサポートした。 関連企画として、原作者の映画作品の上映会を事前に実施した。市民に公演のイメージを持ってもらうことでチケットの購買増につなげた。 【作】松田正隆 【演出】高橋正徳（文学座） 【出演】亀田佳明（文学座）、鈴木陽丈（文学座）、石丸椎菜、大野香織（文学座）、陰山泰	平成29年10月6日（金） ～12日（木） ＜全6回公演＞ ／小劇場 平成29年11月3日（金） ～10日（金） ＜全8回公演＞ ／吉祥寺シアター
5	大型市民参加事業 「君といた夏」	名作「わが町」をもとに設定を可児に置き換えた演劇公演。一般市民83名が出演した。一般市民をプロのスタッフが約5ヶ月にわたり指導し、大人から子どもが同じ目標に向かって時間を共有したことで、普段の生活では体験できない達成感を味わうことが出来た。 関連企画として、7月に「忍者修行ワークショップ」、2月に「現代キッズヤングよ、これがSHOWAだ！」を開催した。それぞれ各30人、60人が参加し好評を得た。 【演出】黒田百合【脚本、作詞】瀬戸口郁	平成30年3月3日（土） ～4日（日） ／主劇場
6	日英地域劇場滞在型 共同制作公演	2019年度の公演に向け、劇作家のエヴァン・プレイシーが台本制作のための来日取材を行った。各地の取材で、公演の主なテーマ（日本の貧困問題、自殺問題、在日外国人のアイデンティティ、日本の文化や歴史）について理解を深めた。	平成31年度 ／英国、日本

まち元気・市民交流促進事業（提携公演）

	事業名		実施日／会場
1	シリーズ恋文vol. 8 ツアー公演	アーラの自主事業を県外で上演し、全国に向けたブランディングを進めた。公演先は「恋文」のコンテストを行った旧二ツ井町で、知名度の高い俳優をキャスティングできたことが集客につながり、多くの人に来場いただいた。	平成29年6月11日(日) ／秋田県能代市
2	ala Collection シリーズ vol. 10 「坂の上の家」ツアー公演	アーラが企画制作した演劇公演を、全国5カ所で計6回行った。公演以外に演出家によるワークショップ、劇作家の戯曲講座など、各地域のニーズに合わせた関連企画も実施した。アーラが企画制作した作品を全国へ発信することで、可児市とアーラのブランド力を高めた。	平成29年10月14日(土) ～29日(日) ＜全6回公演＞ ／長岡、筑後、長野、小野、舞鶴

まち元気・市民交流促進事業（普及啓発事業：ワークショップ）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	多文化共生プロジェクト2017「おはなし工作ものがたり5」	日本国籍・外国籍の市民を、プロの演出家が指導する演劇的工作アトラクション公演。ばら教室KANI、多文化共生センターフレビアでのワークショップを開催し、外国籍の参加を誘導した。参加者が演劇を通して交流したり、国籍の違う市民間の交流の場となった。 【演出】森さゆ里（文学座）	平成29年8月19日(土) ～20日(日) ／演劇ロフト 音楽ロフト
2	みんなのディスコ	市内外の障がい者施設と連携し、公の場でダンスや音楽などを楽しむ機会のない障がい者が、健常者と垣根なく共に踊る場を設けた。当日はアーラ舞台スタッフやDJ、ダンサーを配置し、本格的な照明と音響、トークで会場を盛り上げた。	平成29年6月24日(土) ・12月16日(土) ／演劇ロフト
3	(地域拠点契約関連企画) 子ども向け演劇公演 「ねずみの嫁いり」	文学座の俳優と市民と一緒に作る演劇。 公演の前に工作ワークショップを開催し、子どもたちが自身で制作した楽器で演劇に参加できる仕掛けをつくった。楽器を使って参加できることで、子どもたちも集中して鑑賞できた。 【出演】鈴木亜希子、西岡野人、高柳絢子 【台本】たかやなぎあやこ、さいとうゆういち	平成29年8月26日(土) ・8月27日(日) ／演劇ロフト
4	親子de仲間づくり ワークショップ	楽器や布、新聞紙などを使って身体を動かしたり、指遊びや絵本など親子で楽しめるワークショップ。終了後は会場を開放し、参加者同士でお弁当を食べるなど、仲間づくりにつながった。子育て施設へチラシを配布し、新規参加者を増やすことができた。 【講師】Ten seeds（劇・遊び・表現活動集団）、新井英夫（体奏家・ダンスアーティスト）	平成29年4月19日(水) ～7月20日(木) 10月4日(水) ～12月13日(水) ＜全22回＞ ／レセプションホールほか
5	ココロとカラダの健康ひろば	演劇、ダンスの手法を使い、健康維持、参加者相互の交流を行う高齢者向けのワークショップ。新規利用者が増えるよう、お試し参加を開催した。参加者が講座のない日でも集い、語らうような仲間づくりに発展し、高齢者の閉じこもり予防にもつながった。 【講師】Ten seeds、新井英夫	平成29年4月19日(水) ～7月19日(水) 10月4日(水) ～12月13日(水) ＜全21回＞ ／レセプションホールほか

6	児童・生徒のためのコミュニケーションワークショップ	今年度から市の委託事業として実施。小中学校で、言葉を使わないコミュニケーション・ゲームやグループで協力して一つの物語を表現する活動を行った。普段大人しい子どもも積極的に人と関わろうとする姿勢が見られ、他者理解・クラスづくりにつながった。 ワークショップでは各学校に参加者の声や概要をまとめたものを配布した。その結果学校側の理解が深まり、参加希望校が増加した。 【講師】Ten seeds、新井英夫	平成29年4月20日(木) ～7月13日(木) 10月5日(木) ～12月14日(木) <全41回> /市内小中学校
7	スマイリングワークショップ	今年度から市委託事業として実施。不登校児童・生徒の通うスマイリングルームでワークショップを行った。ゲーム形式の活動を多く取り入れ、子どもたちが楽しい印象を持てるよう工夫した。ワークショップに夢中になる中で、会話など基本的なコミュニケーションを取る姿が見られた。 【講師】Ten seeds、新井英夫	平成29年4月20日(木) ～6月22日(木) 10月5日(木) ～12月14日(木) <全10回> /教育研究所
8	(地域拠点契約関連企画) 親子で楽しむコミュニケーション・ワークショップ	ひとり親家庭の親子を対象とした演劇ワークショップ。演劇的手法を取り入れたゲームを通してコミュニケーションについて学び、親子や参加者同士の絆が深まった。 【講師】西川信廣(演出家)、浅海綾子・佐藤麻衣子(俳優)	平成29年12月17日(日) /福祉センター
9	(WYP業務提携) 英国人講師による小中学校演劇ワークショップ	英国で子どもたちに実施している演劇教育プログラムを、小中学校で実施した。児童生徒の表現力やコミュニケーション能力、想像力を養った他、ネイティブな英語に触れることで、語学への関心を高めた。 【講師】エイミー・ランスロット(ウエスト・ヨークシャー・プレイハウス)	平成30年1月22日(月) ～1月26日(金) /市内小中学校
10	アーライルミネーション事業	今年は「夢」をテーマに、水と緑の広場をイルミネーションで華やかに彩った。期間中は毎日、公募の市民による点灯式を行った。館長や財団職員がカウントダウンやバスデーソングで演出し、家族や友人との思い出づくりに貢献した。 12月23日(土)には、アーラクルーズが紙粘土とLEDを使った手作りランプを作るワークショップを開催し、参加者全員による点灯式を実施した。	平成29年12月2日(土) ～平成30年2月14日(水) /水と緑の広場

まち元気・市民交流促進事業(普及啓発事業:アウトリーチ)

	事業名	事業内容	実施日/会場
1	(地域拠点契約関連企画) ala芸術宅配便「新日本フィルおでかけコンサート」	新日本フィルハーモニー交響楽団が小学校、特別支援学校に出向き、ミニ演奏会を開催した。演奏を聴くだけでなく、合唱(合奏)や楽器演奏体験も行い、本物の音楽を身近に感じ楽しむ機会を提供した。 【出演】木管五重奏:斎藤光晴(フルート)、庄司知史(オーボエ)、重松希巳江(クラリネット)、坪井隆明(ファゴット)、熊井優(ホルン) 弦楽四重奏:ビルマン聡平、外園萌香(ヴァイオリン)、矢浪礼子(ヴィオラ)、植草ひろみ(チェロ)	平成29年6月13日(火) ～16日(金) 6月21日(水) ～22日(木) /広見小学校、旭小学校、帷子小学校、可茂特別支援学校
2	アーラ未来の演奏家プロジェクト2017	実力派の若手アーティストによるコンサート。公開リハーサルやロビーコンサートなど、演奏家や音楽を身近に感じられるプログラムを展開した。また可児市に5日間滞在し、小学校2校に出前授業をを行い、子どもたちと様々な交流を行った。 【企画・解説】佐野秀典(作曲・編曲家) 【出演】居福健太郎(ピアノ)・三浦明子(ヴァイオリン)	平成29年6月7日(水) ～11日(日) /帷子小学校、今渡南小学校、美術ロフトほか

3	(地域拠点契約関連企画) ala芸術宅配便 「文学座おでかけ朗読会」	文学座の俳優が全ての公立中学校に出向き、朗読会を行った。同年代の若者が登場する手紙の朗読を入れるなど、中学生が共感できる内容とした。 【出演】南一恵 【プログラム】「小さい潜水艦に恋をしたでかすぎるクジラの話」、「母への手紙」	平成29年7月4日(火) ～7日(金) ／蘇南中学校、中部中学校、西可児中学校、東可児中学校、広陵中学校
4	(地域拠点契約関連企画) クラシックホームカミング	新日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーが、中部中学校吹奏楽部を訪問し、子どもたちと音楽を始めたきっかけや、現在までの経歴を語り合う会を設けた。最後には合奏を楽しみ、音楽の原点を知る場となった。 【出演】伊藤駿(トランペット)	平成29年9月10日(日) ／中部中学校

まち元気・市民交流促進事業(普及啓発事業:講座・講演)

	事業名	事業内容	実施日/会場
1	町が元気になる処方箋	ゲストと館長が、地域課題や公共劇場のあり方を議論し考える公開座談会。子どもの貧困と劇場をテーマに、こども食堂や無料学習支援など、先進的な活動を取り上げてた。 【ゲスト】平田オリザ(劇作家)、栗林知絵子(NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク理事長)	平成29年8月10日(木) ／映像シアター
2	アーラみんなの同窓会	平成20年度から実施している市民参加型事業の参加者を一堂に集め、参加者同士の交流会を行った。市民参加公演(MY TOWN可児)参加者が企画運営を行った。併せて次回の市民参加事業の支援を働きかけた。	平成29年9月3日(日) ／レセプションホール
3	世界劇場会議 国際フォーラム2018in可児	先駆的な劇場経営を行っている英国の論客等を迎え「劇場は社会に何ができるか、社会は劇場に何を求めているか」をテーマに討論会を開催した。 【パネラー】 セーラ・ジー(芸術文化組織コンサルティング会社インディゴ社業務執行役員) 幸地正樹(ケイスリー株式会社代表取締役CEO) サーラ・オーグル(リヴァプール・エヴリマン&プレイハウス マーケティング&コミュニケーション部長) ヴィヴィアン・ヒューズ(ウェストヨークシャープレイハウス資金調達部シニア・マネージャー) 西川信廣(文学座 演出家) 藤原章夫(文化庁文化部長) カス・ラッセル(ハレ管弦楽団 資金調達部部長) 新井英夫(体奏家、ダンスアーティスト) 前田有作(劇団LGT主宰、有限会社ラック代表)	平成30年2月8日(木) ～9日(金) ／小劇場
4	歌舞伎とおしゃべりの会	歌舞伎をきっかけに、日本文化や匠の技を楽しく学ぶ講座。講義だけでなくワークショップも行うなど、楽しみながら芸の奥深さを学んだ。バスツアーでは大歌舞伎を鑑賞した。 【講師】中村橋吾(歌舞伎役者)、吉田豊(歌舞伎研究家)、葛西聖司(歌舞伎研究家)、安田文吉(南山大学名誉教授) 【ゲスト】渡辺文雄(舞台写真家)、中村亀鶴(歌舞伎役者)、長谷川栄胤(御園座副会長)、望月太八一郎(囃子方)	<全6回> ／映像シアター、演劇ロフト、名古屋特殊陶業市民会館

まち元気・市民交流促進事業(人材育成事業)

	事業名	事業内容	実施日/会場
1	平田オリザの「対話を考える」ワークショップ	市内小中学校の教員を対象とした演劇ワークショップを、教育研究所と連携して開催した。教育現場に持ち帰って実践したいとの意見を多くいただいた。 【講師】平田オリザ(劇作家)	平成29年8月10日(木) ／美術ロフト

2	劇場に関わる人のためのアーツマーケティング・ゼミ「あーとま塾2017」	劇場の役割について、マーケティングや社会包摂、文化政策などをテーマに、アーラでの取り組みを題材に全国各地の劇場関係者と意見交換を行った。 【講師】世良耕一（東京電機大学教授）、幸地正樹（ケイスリー(株)代表取締役）、中川幾郎（帝塚山大学教授）	平成29年5月18日(木)～19日(金) 10月25日(水)～26日(木) 平成30年1月17日(水)～18日(木) ／音楽ロフト ほか
3	森山威男ドラム道場	市内在住のジャズドラマー・森山威男を講師に迎え、その演奏技術を個人レッスン形式で学ぶ講座。6月と11月には受講生の成果発表として、ゲストミュージシャンとの公開セッションを開催した。 【講師】森山威男（ジャズドラマー） 【ゲスト】大森菜々（ピアノ）、酒井美絵子（ドラム）、額瀨雅代（サクソ）	通年<月4回> ／音楽ロフトほか セッション 平成29年6月29日(木) ・11月26日(日) ／音楽ロフト ほか

まち元気・市民交流促進事業（芸術団体等支援）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	市民演劇支援	高校演劇中濃地区大会の開催に際し、良好な環境で公演を進められるよう、実行委員会を支援した。舞台の組み方、音響機器や照明の操作などを講義し、大会が円滑に進行した。	平成29年7月22日(土)～23日(日) ／小劇場
2	ROCK FILL JAM in ala 2017	アーティストのライブ演奏、ダンスなどのステージパフォーマンスを楽しむイベント。 音楽を軸にしながら、グルメ、小物などのマルシェ、アート体験、映画など多様なコンテンツを用意した。幅広い年代が1日過ごせる空間をつくり、来場者が昨年度から1.5倍増加した。	平成29年8月6日(日) ／小劇場、演劇ロフト、美術ロフト
3	可児常盤津教室支援	アーラ主催の常盤津ワークショップ受講生が立ち上げた自主教室について、企画運営のアドバイスや会場提供などの支援を行った。 【講師】常盤津巴瑠幸太夫	通年 おさらい会 平成30年1月20日(土)
4	可児歌舞伎同好会支援	「松竹大歌舞伎」公演では地歌舞伎衣裳展を、「歌舞伎とおしゃべりの会」では企画運営などala事業を通して歌舞伎同好会の存在や活動が認知されるよう支援した。	通年
5	紙芝居一座支援	アーラ取材の文学座朗読ワークショップ受講生が立ち上げた自主教室を支援した。今年度は定期的な稽古の他にこども食堂や公民館で4回公演し、活動の幅を広げた。	通年
6	市民活動支援	alaクルーズの以下の事業を支援した。 ・造形作家玉田多紀 ダンボールの生きもの展 ・アーライルミネーション ・手づくりランプをつくろう！ワークショップ ・フロントスタッフ活動、広報誌発行、ボランティア研修、先進地視察等	通年

まち元気・市民交流促進事業（文化祭）

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	可児市音楽祭	市委託事業を実施した。市民アマチュア9団体が出演した。全席自由で入場無料であったため、来場者の満足度は高く、多くの市民が演奏を楽しんだ。	平成29年7月2日(日) ／主劇場
2	可児市美術展	市委託事業を実施した。洋画、日本画、書道、デザイン・工芸、写真の5部門の作品を募集し、各賞の決定と展示会を行った。	平成29年11月8日(水)～12日(日) ／ロフト、レセプションホールほか

3	可児市文芸祭	<p>市委託事業を実施した。小・中学生の部では3部門（詩または作文、短歌、俳句）、一般の部では8部門（短編小説、随筆、現代詩、短歌、俳句、川柳、狂俳、俚謡）を募集し、各賞を決定した。</p> <p>優秀賞以上の作品についてはギャラリーに展示し、最終日に表彰式と文芸祭賞受賞作品の朗読会を開催した。</p> <p>【朗読】石井麗子（文学座）</p>	<p>平成29年12月6日（水） ～10日（日）</p> <p>／ギャラリー、演劇ロフト、レセプションホール</p>
---	--------	---	--

各事業会計共通

	事業名	事業内容	実施日／会場
1	広報宣伝事業	<p>チケットシステムを活用した多彩なチケットの販売と、月刊広報紙「ala TIMES」の作成・配布、ホームページ等による幅広い広報宣伝活動を行った。</p> <p>また、定例記者懇談会を開催し、新聞等のメディアに情報発信するとともに、広報番組きめてみるの制作放送、FMらら、FMPiPi、メールマガジン、新聞折り込みチラシ、年間公演情報冊子ブロッシャー、まち元気プロジェクト・レポート、公演専門誌MEG、フリーペーパー、アアラフレンドシップ会員への情報提供等により、公演情報のPRとともにアアラ自体のブランディングを行った。</p>	<p>通年</p>
2	鑑賞モニター	<p>市民の意見を反映した事業を展開するため、主要事業を鑑賞する鑑賞モニターを募集した。31人の応募から10人を選出した。モニターには懇談会を行い率直な意見をいただいた他、施設見学などを体験することで、地域に根差した施設の理解を深めた。</p>	<p>通年</p>
3	私のあしながおじさんプロジェクト	<p>企業・団体・個人からの寄付金を財源に、中高生に希望する公演チケットをプレゼントし、芸術鑑賞の機会を提供した。また「for Family」として、ひとり親家庭の親子、就学支援を受けている家庭にチケットを家族分プレゼントし、家族間のコミュニケーションの促進を図った。29年度は25社（者）から115万円の寄付があり、142人にプレゼントした。</p>	<p>通年</p>